

	島根大学 人文科学分野
学部等の教育研究 組織の名称	法文学部（第1年次：225名、第3年次：10名） 人文社会科学研究科（M：12名）
沿 革	大正9（1920）年 松江高等学校設置 昭和24（1949）年 島根大学文理学部設置 昭和53（1978）年 文理学部を改組し法文学部設置 平成9（1997）年 人文社会科学研究科設置
設置目的等	昭和24（1949）年に、人文科学、社会科学、自然科学の各分野にわたる総合的な教育及び研究に重きを置き、広い基盤に立つ専門教育を与えることを目的として、文理学部が設置された。 昭和53（1978）年に、近年の学術研究のめざましい進展と専門分化の傾向、進学率の上昇に伴う地方大学の整備を目的として、文理学部を改組し、法文学部、理学部が設置された。 平成9（1997）年に、より高度の学際的・実践的な人文社会科学の教育研究に取り組むことを目的として、人文社会科学研究科が設置された。
強みや特色、 社会的な役割	<p>【総論】 島根大学における人文科学分野においては、真理の探究を図るとともに、島根県を中心とした中国地域における課題解決の役割を果たすべく、教育研究を実施してきた。 引き続き、上記の役割を果たしながら、教育及び研究において明らかにされる強み・特色・役割等により、学内における中長期的な教育研究組織の在り方を速やかに検討の上、実行に移す。</p> <p>【教育】 (学部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人文科学の学問分野の教育研究を通じて、歴史・社会・文化に関する専門的知識を備え、創造的・実践的能力を有し、地域社会で活躍できる人材を養成する。 ○ このため、学生が自主的に学ぶ活動をゼミ単位で支援するとともに、山陰地方を主たる教育対象としたフィールドワークやグループ討論型の授業に取り組んでいる。 ○ これらの取組を通じて、島根県を中心とした中国地方の企業・自治体等に約7割の学生が就職するなど、地域社会を支える人材を輩出している。

- 今後、全ての授業科目で修得できる知識・能力を項目化・点数化する仕組み（学修経験値システム）を導入するなど、卒業時に必要とされる資質や能力を可視化しつつ体系的な教育課程を編成するとともに、カリキュラムの妥当性・整合性を確認し、学生の能動的学習を促す教育の実施や組織的な教育体制等を整備する。また、これらの取組の実施だけでなく、可視化した資質や能力に応じた取組の成果や効果等を適切に把握していくことにより、学士課程教育の質的転換に取り組む。

（大学院）

- 歴史・社会・文化に関する高度な専門能力を有するとともに、課題を探究し、社会に還元できる形で分析し、論理的に表現できる実践的能力を有する専門職業人を養成する。
- このため、大学院生が学部開講の専門科目において学部学生に対する指導に従事し、報告書を作成するなどの取組を行っている。
- 今後、社会人、留学生を含め、時代の動向や社会構造の変化に的確に応え、課程制大学院制度の趣旨に沿った教育課程と指導体制の充実・強化を通じ、大学院における当該分野の強み・特色を明確にする。

【研究】

- 地域の発展に寄与すべく、歴史、文化、社会に関する学際的な山陰研究の実績を基に、山陰研究センターを設置し、山陰地域の貴重文献・史料の調査や島根大学ミュージアムの市民講座活動などに取り組んでいる。また、松江市との共同によるプログラム言語「Ruby システム」の学際的研究を推進している。
- これらの取組を通じて、山陰地域の貴重文献・史料のデータベース化につながっている。
- 今後、地域貢献型研究を中核として総合的な研究を組織的に推進するとともに、島根県を中心とした山陰地域の課題解決・文化の発展に組織的に取り組む。

【その他】

- 全学的な機能強化を図る観点から、18歳人口の動態や社会ニーズを踏まえつつ、学部・大学院の教育課程及び組織の在り方、規模等の見直しに取り組む。また、学部の入学辞退率の改善のため、魅力あるカリキュラムの再構築、定員規模の見直し等に取り組む。